

# ユニバーサルテーブルウェア

使いやすさの結論。その工夫は偏心・非対称形状です。

道具を使う能力が弱ってきた高齢者や、  
障害を持つ人たちにとって  
本当に扱いやすく、食べやすい食器の形とは…。  
人間工学的視点から徹底的な検討を加え、  
達した結論が、この偏心・非対称形状です。  
高齢者向け食器として  
優れた使いやすさを備えました。  
自分の手で食事をするのを助け、  
リハビリの一環としても役立つ食器です。



## ① 食べ物に応じたすくいやすさ

食器円周のなかで「壁」（立ち上がり部）  
の角度を工夫し、一般的なメニューもキ  
ザミ食も、スプーンですくいやすくしま  
した。フォークや箸を使う場合も同様に、  
とても食べやすくなっています。また、  
フランジを設けたことによって食器の保  
持がしやすく、外にこぼす心配も少ない  
ため、手の機能のおとろえた方にも安心  
してお使いいただけます。



カデンツァ  
*Cadenza*

実用新案登録・意匠登録出願済



主菜皿(大)φ215×35H

## ② 偏心形状なのに スタッキングOK

裏側の四方にリブを設けることにより偏心形  
状でありながらスタッキングが可能です。大  
量の食器も整理・保管が容易です。



### 滑り止め加工

配膳時も食事中も、食器底部のシリコンゴ  
ムで滑らず安心です。



### フードカバー（別売り）も 用意

温冷配膳車での食事サービスには、別売りの  
フードカバーが便利です。においが移らず、  
また衛生面の配慮も行き届いた食事サービ  
スを実現します。

